

事業所名

放課後等デイサービスウイズ吉野ヶ里教室

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

1日

法人（事業所）理念	この法人は、お互い様を合い言葉に、助け合いを第一の基礎と考え、多様な福祉サービスを通じて、近隣地域の高齢者、障害者に対して、住み慣れた環境の中で、安心して生きがいのある自分らしい生活を送れるよう援助すると共に、子どもの情操教育や、家族、親等の要望に沿った生活援助に関する事業を行い、地域住民の健康維持と福祉の増進に寄与することを目的とする。						
支援方針	利用者が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な療育支援を行う。						
営業時間	10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態等についてご家庭や学校と共有し、顔色や服装・メンタル状態などの小さなサインを見逃さないように観察を行います。 基本的な生活スキルを身につけるために、入室時の身辺整理（靴・ランドセルの整理、手洗い、提出物の管理など）、時間管理（時間を守る、時間を認識するなど）を支援します。 利用者が理解しやすいように、カリキュラムなどは視覚支援（ボードへの記入、カードの利用など）します。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> それぞれが持つ身体・運動機能の把握に努め、出来ることから挑戦しながら達成感が得られるよう支援します。 楽しみながら体幹や指先を動かすことやビジョントレーニングなどにより可動領域や五感・平衡感覚を意識した支援します。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知や理解の状態を把握することで、こだわりや敬遠を軽減できるよう支援します。 利用者が色や数字、時間などを認知、理解しやすいように物品（カレンダーや針の時計など）を活用して、概念形成の習得を支援します。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 利用者自身の思いを態度ではなく、話すことや書くことで伝えられるように支援します。 集団活動での他者との関りを通して、コミュニケーション能力が育めるよう支援します。 言語的コミュニケーション以外の非言語的コミュニケーションも活用しながら表現することができる様に支援します。 					
人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活のなかで、ルールを守るなどの社会性、順番を譲るなどの協調性が育めるよう支援します。 下級生、同級生、上級生との良好な関係性を築けるように支援します。 						
家族支援	連絡ノートや送迎時の連絡などにより、随時情報を共有し、必要に応じて学校と連携し、面談や参観の場を設けて（きょうだいを含む）相談援助を行います。	移行支援	学校や福祉社会資源との情報交換等により、包括的に支援を行える環境づくりを支援します。				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の関係機関等と必要に応じて連携を図りながら支援します。 地域イベントへの参加を通して、顔の見える地域支援・連携を支援します。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の事業所での会議研修の実施 全事業所合同での管理者会議の実施 法定研修の外部、内部での研修の実施 				
主な行事等	(毎月) 誕生日・避難訓練 (季節行事) 七夕・夏祭り・十五夜・ハロウィン・クリスマス・餅つき・節分・ひな祭り・花見 (その他) 駄菓子屋さん・クッキング・社会科見学・農業体験						